

# 2021年度 夏季手当のたたかい

## 本部へ届けられた組合員の声の数々

食事は駅ナカ、Suica決済、JREPOINTの登録、NewDaysを活用など、身近な所から収益に繋げる努力をしている。

人件費削減を理由にこれ以上の減額は受け入れられない！足元の状況は分かるが黒字を目指している。モチベーションを上げるためにも変革2027実現のために満額で応えるべきだ！

年収をベースにローンを組んでいる実態だ。ボーナス払いの比率も高く、手当がなければ支払えない現実だ。貯蓄を切り崩すか払えなければ住宅を手放さなければならない。

奨学金の支払いがあるため、月々の給料は食事にしか使っていない。やりがいでいだけでは生きていけない。夢を持って入社したのに残念だ。

昨年は旅費のせ制度改正に伴う精算分と、国からの10万円があったから何とかだったが、今年はずでに家庭内のキャッシュフローは赤字だ！

オリパラ成功に向けて準備を進めている

私たちは「申13号 2021年度夏季手当等に関する申し入れ」として、

### 要求内容

- ・基準内賃金の2.7ヶ月
- ・新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当を全従業員対象（出向者含む）5万円
- ・JR東日本グループ社員のエンゲージメント向上、「変革のスピードアップ」実現のために、JR東日本グループ全従業員対象（出向者含む）にびゅう商品券5万円

を5月13日に提出しました。

そして、申13号の団体交渉において

- ・2020年度は5066億円の赤字。2021年度は250億円の黒字
- ・対前年のGWの新幹線・特急列車のご利用状況は626%
- ・4月の対前年の利用状況は定期外収入で近距離263.6%、中長距離1274.9%、計214.8%
- ・上記の理由から、回答は昨年以上で満額とすべきだ。
- ・組合員の生活実感・労働実感
- ・1年以上にわたるコロナ禍での努力
- ・黒字化に向けた、コストダウンを含めた職場現実と努力

を訴えました。そして、職場からも掲示板等を活用して組合員の声を訴え、職場と交渉団が一体となってたたかいをつくり出しました。

組合員・社員の生活なくして企業の持続的成長はない！ 私たちの生活実感・労働実感を受け止めない会社姿勢を許さない！

## しかし、生活実感に重きをおいていない、私たちの声を軽視した2.0回答に怒り！



創造的に取り組まれた、職場掲示板を活用したたたかい！

6月10日に示された「2.0ヶ月」という会社回答は、私たちの生活実感に重きを置いたとは言えないものであり、納得できる回答ではありませんでした。よって、申13号の回答について全地本へ報告し、議論を行い、JR東労組として初めて緊急再申し入れ「申14号組合員と家族の生活確保とモチベーション維持・向上を求める2021年度夏季手当等に関する緊急再申し入れ」を即日提出しました。そして、6月11日に申14号の団体交渉が行われました。



最後まで共にたたかい抜いた全ての仲間にご感謝します！